

# メガソーラーの乱開発ストップを

9月12日、えんど久子県議予定候補は、日本共産党堤栄三県議（大分市選出）の一般質問を傍聴しました。No.20に続き傍聴の報告です。

## 別府でも日出でも乱開発

別府市では東山小中学校の手前と志高ユートピアの跡地など道の両側で、パネル設置の面積11ha、2万4000キロワット。内成でも29ha、3万2000キロワットの大きな規模で工事中。別府の森ゴルフ場付近にも計画があるようです。

日出町では、153.54ha（町有地22.5haを含む）もの広大なメガソーラーを始め、各地に太陽光発電施設が建設されています。日出町のメガソーラーの総面積は301ha。日出町全体の面積の25分の1にも及びます。

## 大分市で住民が会を結成

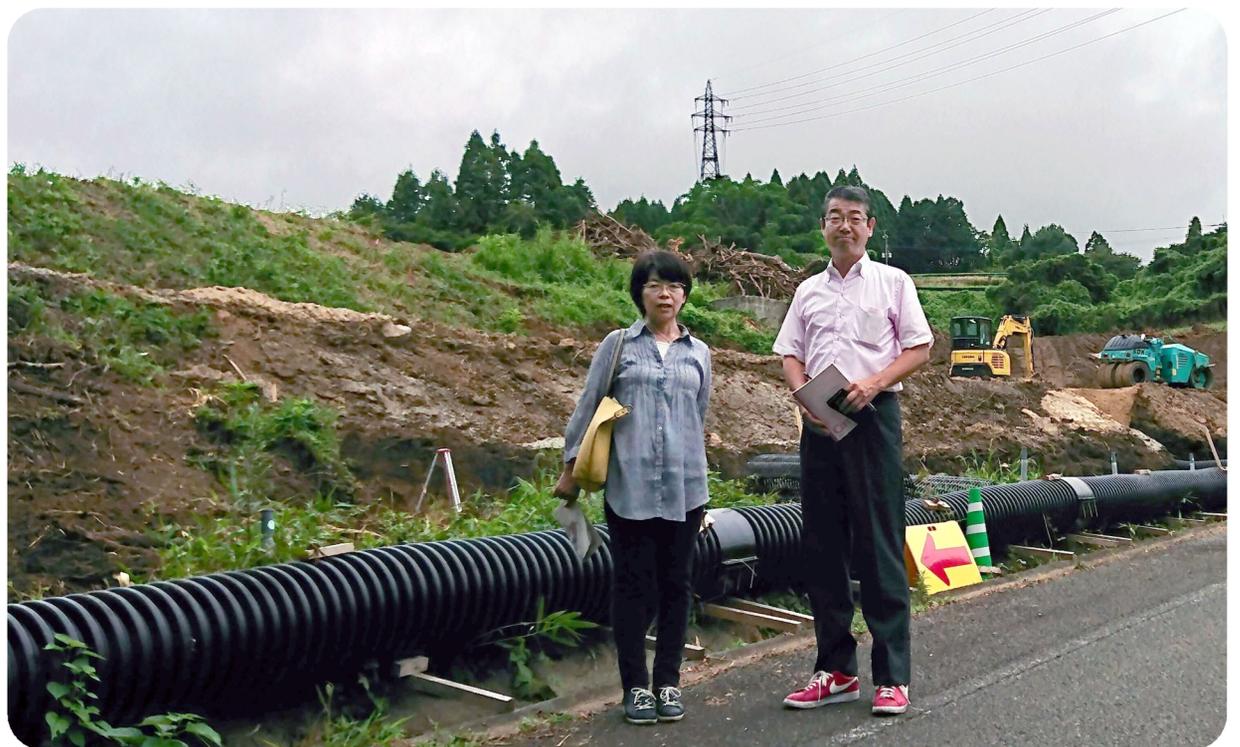
大分市杉原地区では「杉原メガソーラーを考える会」が作られ、土砂崩れや騒音、反射光などについて不安の声があり、大分県とも意見交換しています。

9月12日の県議会一般質問で、堤栄三県議は、住宅地に近い杉原地区の状況を紹介し、メガソーラーの規制のため県条例の制定や県独自のガイドラインを、と主張しました。

## 県独自のガイドラインを検討

県の担当部長は「ガイドラインは県独自のものを検討している。条例制定は考えていない」との答弁でした。

メガソーラー建設での乱開発をストップさせるために力をあわせましょう。



えんど久子は7月22日、真島省三前衆議院議員と別府の内成・東山のメガソーラー建設中の現場を調査をしました。

## 日本共産党 大分県に要望書を提出

# 別府大分以外は中学生まで通院無料

## 230項目を要望

10月2日、日本共産党大分県委員会は、大分県へ要望書を提出しました。来年度予算について信号設置などを含む230項目の要望を文書で提出しました。

10月25日に文書回答を受け、県下の共産党議員らは、大分県の各担当者と夕方まで話し合います。

## 障害者医療費助成など改善

この要望と話し合いは毎年続けていきます。

重度障害者医療費助成制度の改善を求め続けてきました。来年度中に手続きの必要がない自動償還払いに改善されます。今後も現物給付を求めていきたいと思います。

## 県が中学生まで通院も無料に

県下のほとんどの市町村が中学生までの通院医療費助成を実施しています。豊後高田市・由布市では入通院は、国東市では入院が高校生まで無料です。

「中津市と宇佐市も来年7月からの実施が決まった。通院の医療費無料が就学前までなのは大分市と別府市だけだ。市町村が独自に努力しているのに、大分県の制度は就学前まで500円負担で一番遅れている。県として中学生まで無料化すべきだ」と、えんど久子県議予定候補（別府市区）は大分県の和田総務部長に求めました。署名を広げ、みんなの力で実現しましょう。

## 大分県議会に 女性は 二人だけ

現在、定数43名の大分県議会に女性県議は大分市選出の二人だけ。そのうち一人は来年春の県議選に立候補しないと報道です。

別府市から女性県議を必ず送り出したいと、えんど久子は全力を上げています。

別府市議会に今女性市議は一人もいません。美馬きょうこが女性の声を届けるためにもがんばります。



右から、堤栄三県議（大分市選出）、林田澄孝日本共産党大分県委員長、えんど久子県議予定候補（別府市区）（前別府市議）、美馬きょうこ別府市議予定候補、後ろは大分市議。

手前は、大分県の和田雅晴総務部長ら。

2018. 10. 2. 大分県庁内にて